

平成31年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	4. 志津図書館管理運営事業
項	5. 社会教育費	中事業	
目	4. 図書館費	担当所属	志津図書館

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額		
経常	単独	通常	0	0	5,052			平成28年度	-
								平成29年度	-
								平成30年度	-
								平成31年度	-
							平成32年度	-	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	170	
本年度当初査定額	170	5,536

財源内訳	諸収入						その他	一般財源
本年度当初要求額	0						170	△170
本年度当初査定額	170						0	5,366

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・市内外の住民に、良好な状態の図書・視聴覚資料を無償で貸し出します。 ・施設の定期的な点検を行い、必要ならば修繕をして、快適に使用できる状態に保ちます。</p>	<p>(事業の目的) 資料と施設内の設備を適切に管理し、利用者に安全で快適な資料貸出のサービスを提供します。</p>	<p>(事業の効果) 利用者に快適な環境での図書館サービスを行うことで、住民の教養と文化の向上に寄与します。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 志津図書館の年間入館者数は約30万人と利用率の高い施設であり、蔵書冊数も多く、図書館の運営(図書等資料整理・管理等)に係る経費が、他の施設と比べて多くなることが考えられます。また、開館から20年以上が経過、備品の老朽化により、修理や更新の必要が生じる可能性が高くなってきています。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 魅力ある図書館づくり及び図書館来館者の増加を目的として、平成30年度に好評だった映画上映会事業の充実を図るため、上映用視聴覚教材の著作権使用にかかる使用料を新科目として追加しました。</p>	<p>(見積についての特記事項) 志津地区は市内で最も人口が多く、また、人口の多い他自治体と隣接しているため、今後も図書等の資料の需要が高い状態が続きます。予算の範囲内で、効率良く志津図書館と志津分館の運営をしていく必要があります。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
09	70	70	0
11	4,977	5,088	△111
12	342	342	0
14	65	0	65
18	82	54	28

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	21	05	04	01	50	05	コピー機使用料	150	150	150	0
21	05	04	01	50	50	利用者端末資料複写料	20	20	0	20	
差引一般財源								△170	5,366	△150	5,516